

## 計画の方向性（基本目標） 更新版

### 我が国の生涯学習について

我が国の生涯学習は、当初、社会教育や成人教育を中心に学習機会の提供や施設整備を通じて推進されてきましたが、様々な検討を重ねて「生涯いつでも自由に学びを選択し、多様な場で行われるあらゆる学習」として捉えられるようになりました。

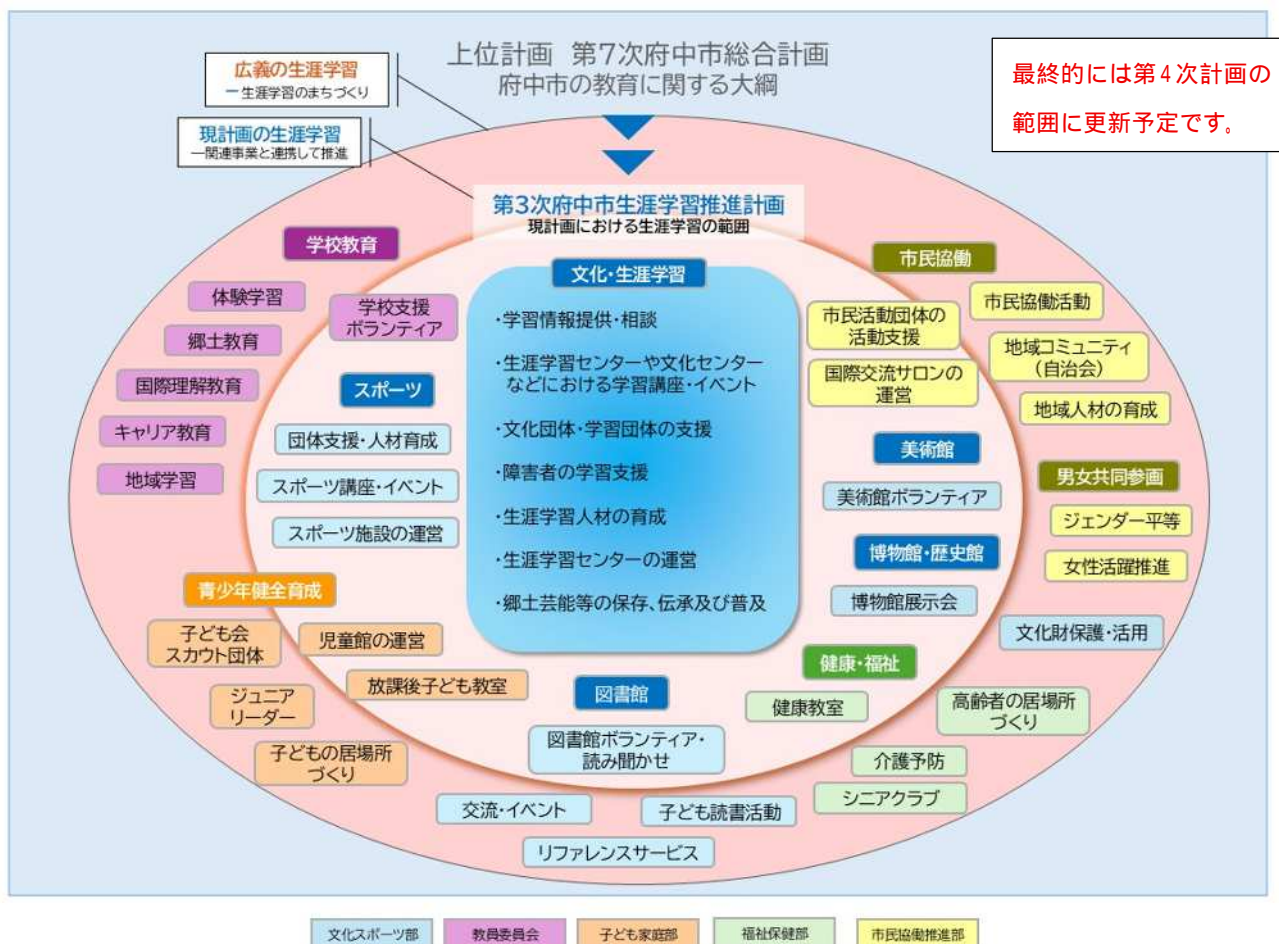
近年では、人生 100 年時代や社会の多様化、デジタル化の進展などを背景に、学び直しを含めて誰もが主体的に学び続けられる環境づくりが重視されるとともに、生涯学習は、よりよく生きること（ウェルビーイング）や社会的包摂の実現、地域の持続性を支える基盤としての意義が一層高まっています。

#### 第 11 回中央教育審議会生涯学習分科会におけるウェルビーイングの説明

「誰もが、いつでもどこからでも、誰とでも、自分らしく学ぶことができ、誰一人取り残されず、一人一人の可能性が最大限に引き出され、一人一人の多様な幸せであるとともに社会全体の幸せでもある」状態

### 府中市における生涯学習事業の範囲

府中市では、全庁体制での生涯学習を基本としつつ、本計画が主として取り扱う生涯学習事業の範囲をおおむね、次のように捉え、計画を策定するものとします。



## 府中市の生涯学習の捉え方

### 前提の 考え方

本市の第7次府中市総合計画では、「多様性を認め合い 人と文化が磨かれるまち」を生涯学習分野の基本目標に設定しています。時代の変化に対応しながら、様々な背景を持つ市民が共に生きる共生社会を目指して、生涯学習の分野においても多様性(Diversity)、公平性(Equity)、包摂性(Inclusion)の3つの要素を重視するとともに、これまで本市が進めてきた市民協働を基盤として、共に学びあえる環境をつくっていくことが求められているところです。

### ニーズの 拡大と役割 の変化

また、第12期中教審生涯学習分科会の議論にもあるように、人生100年時代の社会においては、生涯を通して一人ひとりの学ぶ時期や進路が複線化し、学校教育が終わった後も、生涯にわたって学び続ける時代とされています。

こうした社会の構造的な変化を背景に、生涯学習へのニーズは多様化するとともに、学びの在り方も変化しています。リスキリングなどキャリアアップにつながる学び、人生を幸せに過ごすための学び、人と人がつながるきっかけとなる学び、地域の活動を通して信頼を深め共に育む学びなど、一人ひとりの成長や充実につながるものから地域や社会を支えるものまで、多岐に渡る学びの機会が求められています。

### 都市の コンパクト化

その一方で、わが国の人口は2006年をピークに減少に転じており、これまで大きな人口減少の影響を受けてこなかった府中市においても、将来確実にやってくる人口減少社会を見据え、都市のコンパクト化の視点が必要とされています。これに伴い、公共施設の再編やネットワーク化、行政サービスの適正化・効率化を前提に、学びの環境についても再構築していくことが求められています。

### 推進 方向

生涯学習ニーズの拡大と行政サービスの適正化・効率化の二局面の課題を解決していくためには、府中市がこれまで築き上げてきた生涯学習資源(機会、人材、ネットワーク等)を、市民、地域コミュニティ及び企業が協働し、主体的な役割を担うという明確な意思をもって、守り育て続けていくことが不可欠です。

すべての取組の根底に多様性、公平性、包摂性があること。

これまで築き上げてきた生涯学習資源を守り育て続けること。

市民、地域コミュニティ及び企業が主体的役割を担う学びヘシフトすること。

## 基本目標（案）

---



本計画では、これまで府中市が市民と共に培ってきた生涯学習の取組の成果や「**学び返し**」の理念を大切にするとともに、前項に掲げる「生涯学習の捉え方」を踏まえ、多様性・公平性・包摂性を基盤に学びの資源を守り育て続け、市民や地域が主体となる学びを進めます。その上で、学びを通じたつながりの中で学びが広がり、市全体へとつながりながら、人と地域が共に成長し、より良いまちを形成することを目指して、次のとおり基本目標を掲げます。

### 基本目標（案）

#### **学びでつながり 共に成長するまち 府中** **～気軽に楽しく 多様な学びのコミュニティ～**

---

第4次生涯学習推進計画では、「**学びでつながり 共に成長するまち 府中**」の実現に向け、すべての人が生涯にわたり多様な学びに親しみ、その学びを通じて人と人、そして地域がつながり、学び・支え合いながら、一人ひとりがその人らしい幸せを実感できるよう、生涯学習施策を進めます。

少子高齢化の進行や社会構造の変化により、地域社会のあり方や行政サービスを取り巻く環境が変化する中、生涯学習は、個人の知識や生きがいの充実に留まらず、人づくりや地域づくりを支え、地域の持続性を高める基盤として、その重要性が一層高まっています。

そのため、本市においては、多様性・公平性・包摂性を基盤としながら、これまで築き上げてきた学びの資源をいかしつつ、市民や地域コミュニティ、民間主体など多様な人々が主体的に学びに関わり、互いに学び合いながら、新たなつながりや多様な価値を生み出していく「多様な学びのコミュニティ」の形成を推進します。

また、その上では誰もが気軽に参加し、楽しく学び続けることができる環境づくりを進めることが重要です。楽しさから広がる学びが、より身近な日常に根つき、一人ひとりの成長と地域の成長が相互に高まり合うまちの実現を目指します。